

5/14 糠平小学校で花を植栽「人権の花」運動

糠平小学校において、花を育てることで命の大切さや人を思いやる心を育むとともに、地域住民への人権意識の啓発を目的とした「人権の花」運動が行われました。天候が良く、植栽日和となったこの日は全校生徒と保護者が参加し、マリーゴールドを鉢植えに植栽しました。

人権擁護委員の國光義信さんは「花を思いやるように、友だちも思いやる心を持ってほしい」と話され、植栽した鉢植えは、糠平市街地に配布されたほか、児童にも寄贈されました。



4/24 地域貢献を行った3社へ感謝状を贈呈

グラウンドの氷割りと町民テニスコートの転圧を行った3社へ感謝状が贈呈されました。

株式会社川村組(川村文雄代表取締役)は町民スケートリンクを、株式会社田西建設(田西長徳代表取締役)は上士幌小学校のスケートリンクの氷割りをそれぞれ実施。株式会社光栄工業(長屋光男代表取締役)は町民テニスコートの転圧を行いました。



4/25 「お話会カッコウ」文部科学大臣表彰を受賞

子どもへの読書活動を推進する長年の活動により、「お話会カッコウ(山下京子代表)」が文部科学大臣表彰を受賞し竹中町長へ報告しました。

山下代表は「子どもたちと地域の方たちと同じ目線で活動してきた。今後も活動を続けていきたい」と話されました。



4/25 竹内さん、北澤さん トランポリン全道大会へ

第34回北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会中学生の部に出場する、上士幌中学校2年の竹内愛詩さんと小学生低学年以下の部に出場する上士幌小学校1年の北澤星來さんが教育委員会を訪れ、大会への抱負を語りました。

竹内さんは「練習の成果をだせるよう落ち着いて演技をしたい」と話し、北澤さんは「高くきれいに跳べるよう頑張りたい」と話してくれました。



5/9 ナイタイ高原レストハウス 安全祈願祭

着工が始まるナイタイ高原レストハウスの工事安全祈願祭が執り行われ、工事関係者などが工事の安全を願いました。

新しいレストハウスは12月に工事完成、オープンは来年6月を予定しています。

レストハウスの詳細は広報5月号に掲載のほか、町ホームページでもご確認いただくことができます。



4・5月の
まちなわだい

地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:新しいことに向けて

記:生涯活躍のまち推進員 安田 涼



株式会社生涯活躍のまちかみしほろのスタッフとして、会社の運営業務と町からの委託業務に携わっています。

委託されている内容には大きく分けて①地域包括ケアの充実、②生涯活躍の場の創設、③移住希望者募集の三つがあり、会社スタッフ5名で役割分担して進めています。私が担当しているのは生涯活躍の場の創設の一環としての「生涯活躍かみしほろ塾」の準備です。町内外の様々な人に学習機会を提供するための事業です。学習といってもカリカリと勉強するスタイルではなく、気楽なトークから少し難しそうなお話まで、硬軟織り交ぜて新しい考え方に触れるチャンス!といった趣です。同時に、いろいろな背景を持った人たちの交流の場にもなってほしいと思いますので、ぜひご参加ください!

また、せっかく会社として設立されたわけですから、これからは独自の事業にもチャレンジできる体制を作って、5年10年100年先の夢を語る組織にしていきたいと思います。たとえ今は荒唐無稽な話であったとしても、新しいことはわくわくしながら作っていききたいですね。そのためにも、皆様の温かいご指導ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願いいたします!



▲生涯活躍のまちかみしほろ事務所



▲上士幌塾のロゴ

TITLE:新入生を迎えて



●入学式の翌日に最初の生徒会行事である『対面式&部活動紹介』が行われました。前年度の上高祭で校舎の壁面を彩った6本の垂れ幕が体育館に飾られ、緊張気味の表情で入場する1年生を出迎えます。先輩の実演を織り交ぜた部活動紹介は臨場感があり、飛び入りで参加した1年生も真剣にプレイしたり、楽しそうにプレイしたり。休憩時間をはさみ、執行部のメンバーが軽妙なトークで笑いを誘いながら、生徒会行事や教職員をスライドで紹介すると、リラックスした雰囲気になり1年生もすぐに緊張がほぐれ、上士幌高校の1年間を足早で追いかけると、予定の90分はあっという間に過ぎました。



5月24日(木)から高体連の地区大会が始まり、6月の全道大会、高文連、高野連の地区大会と、3年生にとって最後の大きな舞台が続きます。応援のほど、どうぞよろしくをお願いします。

平成30年 4 月末現在の人口

男性	2,434人(+17人)
女性	2,566人(+8人)
人口	5,000人(+25人)
世帯数	2,524世帯(+20世帯)

川柳

八十路坂足をきたえて登りきる
夢を見た七人授かり新人記録
子はたてに自分はよこに成長し

坂田いさ子
四児の父
石戸光

短歌

あどけなき仔犬のかほに近々と仔猫は寄りぬ春の日をうけ
ときにはつれなきことも言ひあひし妻よながく永くあれかし
わが歩みエネルギーと言われたり半ば諾う八十の坂路に
花咲けど兄の病いにこの年は畑を作るを止めにするなり
花の散り葉桜となりて緑増え暖かさ続く夏となりたり
連休にテレビを見ながらスクワットやろうと思っ出来なかつた
吹く風はまだ冷たく頬を過ぐ冬囲い解く日曜日の朝
連休の家族旅行に道の駅めぐりて楽し食事も様々
恩返し家を残した父と母せめて仏壇に手を合わせたり
花咲けど寒き五月の十勝野の畑に青青小麦は育つ

本間 尾松 野義 美乃
小松 森也 弓
米森 真弓
高木 誠也
薮根 誠也
米森 樹守
鈴木 博子
石川裕子

平成30年度 ふるさと納税寄付金

4 月分	2,859 件 44,948,496 円
累計	2,859 件 44,948,496 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

(正) 矢戸 晴菜
(誤) 矢戸 晴菜

●お詫びと訂正
●広報5月号の34ページ「平成29年度文化賞・スポーツ賞等表彰式」において矢戸晴菜様のお名前がなにごとに誤りがありました。正しくは次のお通りです。訂正し、お詫びいたします。

広報がみしほろ 7月号は6月25日(月) 発行予定

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

新年度からの上士幌高校の様子

文責 内海 紗希

今年度が始まって2カ月が経った高校の様子をいくつかお知らせします。

その① 部活動に新入生が入部し、加入率は60%を越えました。特にソフトテニス部は9人、吹奏楽部は8人と多くの1年生を迎えること

ができました。今月の末には新体制で迎える高体連集約大会が控えています。

その② 午後3時台の下校バスの時間が10分遅くなりました。大したことではないようですが、今まで掃除当番や係活動があったときにバス時間が気になって身が入らなかったことがだいぶ解消され、清掃活動の質も上がってきました。

その③ そのバス停ですが、周りにある桜の花が満開で、バス待ちの小屋根の足元にはきれいな桃色の花吹雪が舞っていてとてもきれいです。

その④ 最後になりましたが、私たち新聞局も二人の1年生局員を迎えての活動が始まりました。次回以降に乞うご期待。



△満開の桜とダイヤ改正されたバス停